

彼ハ直角ナリト云フ一ハ偽ナリ。故ニ彼ハ直角ニアラス。間接辨証ハ屢々適用セラル、モノニノ殊ニ幾何學ニ於テ用ラル。而シテ通例人ハ反對説ヲ出サントスルキハ、多ク此方法ニ因ラサルナシ。而シテ之ヲ實行スルニハ「然ラズンハ」ナル接續詞ヲ要ス。

ありまどてれす氏ハ嘗テ間接ニ本性ヲ知識スル一ハ唯第一圖式ニ於テノミ爲スヲ得ベシ」テフ一ヲ辨証セシ。即チ左ノ如シ。然ラズンバ第二圖式ニ於テ出来ベクアラ子ハナラヌ。然レ氏此圖式ニ於テハ一ノ肯定ノ推斷(何ハ何ナリト云フ一ヲ知ルニハ唯肯定ニヨリテ始メテ出来クベキニ)ヲ生セス。然ラハ第三圖式ニ於テ出来子バナラヌ。然レトモ、此圖式ニ於テハ、全ク全

稱ノ推斷(本性ヲ包含スルハ一般即チ全稱ナルニ)ヲ生セス。故ニ第二及ヒ第三圖式ニ於テハ、本性ヲ知ル一ノ出来クベキ一ハ虚偽ナルヲ以テ、之ヲ知ルハ、即チ第一圖式ニ於テ出来クベクアル、一ハ真誠ナルベシ。

第二十五章 直接辨証

直接辨証ハ否定或ハ肯定ナリ。否定辨証ニ因テハ本性ヲ知ル一能ハス、何トナレハ若シ吾人ハ何ハ何ナラズト云フ一ヲ知ルキハ、則チ吾人ハ之カ爲ニ又何ハ何ナリト云フ一ヲ知ラス即チ其性ヲ知ル一能ハサレハナリ。説正(肯定)ノ辨証ニ因リテハ本性ヲ知ル一ヲ得。凡テノ學問上ノ研究ハ「何ナリヤ」トノ疑問即チ實物ヨリ始

ム。今若シ題目ニヨリテ「何ナリ」ト云フヲ定置セラル、其ハ。則チ吾人ハ本性及ヒ原因ヲ穿鑿スルヲ求ム。然レ凡テノ知識ノ原因ハ、一般即チ必然ナリ。此一般必然ノ原因ハ、蓋シ覺性的知覺ノ外ニ超脱セルモノナリ。蓋シ原因ナルモノハ五官ニテ知覺スルヲ能ハサルヲ以テ。凡テノ覺性的知覺即チ物体及ヒ現象ノ如キハ不確實ニシテ動搖シ易キモノナリ。而シテ知識ヲ證明シテ良知トナスベキハ唯原因即チ辨證ニ因リテ爲スヲ得ベシ。一般ハ同一ノ類ニ屬スル物体ヲ包括スル如ク、原則ハ各個ノ同種類ナル現象ノ原因トナル。何トナレハ一般ハ同一ノ類ニ屬スル各個ノ物体ノ本性ヲ保有スルヲ以テ、其物体ハ必然之ニ屬セザルベカラズ。又原則ハ各個ノ同一種類ノ現

象中ニ必然原因トナリテ存在スルヲ以テ、均シク此必然ナルモノヲ以テ原因ト爲サ、ルヲ得サルヲ以テナリ。是故ニ各辨證ハ本性及ヒ原則ヲ知ルヲニ基キ、而シテ本性及ヒ原則ハ必然ナルモノナレハ、則チ此必然ハ原因ト謂フヘキナリ。而シテ本性及ヒ屬性、原則及ヒ現象ハ定義ニ因リテ知ルヲ得ルヲ以テ、各直接ノ辨證ハ、定義ヨリ始マリ、而シテ之カ補助ヲ受ケザルベカラズ。

第二十六章 論理學ノ結論

既ニ前章ニ於テ概念ノ定義ハ知識ヲ完全ニ爲スベキ爲メ、語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ唯實在及ヒ現象ノミナラス、却テ覺性智覺ノ外ニアル所ノ原因ヲ知ル爲ニハ必要ナル假定ナ

ルヲ陳述セリ。
 然リト雖モ人間ハ其性質上宇宙ノ万有ヲ證明スルヲ能ハ
 ス。蓋シ人間ハ其因テ以テ他物ヲ辨証スル所ノ原則スラモ
 猶之ヲ證明スル能ハサルナリ。然レモ此原則ヲ證明シ得ル
 文証明セント欲スルハ性理學ノ任務ト云フベシ。

是故ニ論理學ハ覺性知覺ニヨリテ得ル所ノ知識ノ完結ヲ
 以テ畢ル。然レモ一方ニ於テハ此完結ハ理性ニヨリテ得ル
 所ノ知識ノ開始ト見做スヲ得。抑論理學ハ極メテ單純ニ
 シテ通見シ易キモノナリ。然レモ又同時ニ他ノ諸學科ヨリ
 嚴正ナルモノナリ。蓋シ論理學ハ凡テノ他ノ學問ノ先行ト
 ナルモノナルヲ以テ真誠高尚ナル學問ノ教育ヲ受ケント
 欲スルモノハ第一先ツ論理學(其全部或ハ一部分ヲ論セス)ヲ領

會スルヲ務メサルベカラズ、

此の文章は非常に淡く、ほとんど不可読な状態にある。これは印刷のミスや、あるいは故意にぼかされたものである可能性がある。本文の意図を正確に把握することは困難である。

再ヒ心理學ヲ論ス。

第二十七章 感應ノ第二級

美。妙。及。ヒ。高。尚。ニ。對。ス。ル。感。應。ハ。第。一。萬。有。第。二。美。術。ノ。上。ニ。關。ス。夫。レ。萬。有。ハ。小。ニ。シ。テ。ハ。美。妙。高。尚。ナ。ル。寶。石。ヨ。リ。大。ニ。シ。テ。ハ。蒼。天。ニ。罹。ル。日。月。星。辰。ニ。至。ル。マ。テ。皆。之。ヲ。呈。露。シ。以。テ。人。間。ヲ。シ。テ。喜。悅。高。尚。ノ。心。ヲ。起。サ。シ。ム。ル。所。ノ。無。盡。藏。タ。リ。然。レ。氏。人。間。ヲ。シ。テ。敬。畏。異。順。ノ。心。ヲ。起。サ。シ。ム。ル。モ。亦。此。無。盡。藏。ニ。在。ル。ナ。リ。美。妙。感。應。ハ。美。術。ヨ。リ。シ。テ。生。産。ス。ル。所。ノ。モ。ノ。ヲ。喜。好。ス。ル。ヨ。リ。生。ス。是。レ。美。術。ノ。目。的。ト。ス。ル。所。ハ。美。妙。ニ。在。レ。バ。ナ。リ。而。シ。

テ。美。妙。ノ。生。ス。ル。ハ。自。由。ナ。ル。思。想。ノ。必。要。ナ。ル。体。形。ト。相。一。致。ス。ル。ニ。在。リ。蓋。シ。自。由。ナ。ル。思。想。即。チ。觀。念。ハ。或。ハ。石。ニ。或。ハ。金。ニ。或。ハ。詞。辭。彩。色。音。樂。ニ。鑿。記。セ。ラ。ル。、モ。ノ。ナ。リ。抑。美。術。ハ。時。間。ノ。媒。介。或。ハ。空。間。ノ。媒。介。ニ。ヨ。リ。テ。美。麗。ヲ。開。陳。ス。即。チ。第。一。ノ。種。類。ニ。於。テ。ハ。時。間。ニ。從。ヒ。開。陳。セ。ラ。ル。、所。ノ。感。覺。感。應。行。爲。ノ。詩。歌。及。ヒ。音。樂。之。ニ。屬。ス。第。二。ノ。種。類。ニ。於。テ。ハ。物。体。ノ。空。間。ニ。從。ヒ。開。陳。セ。ラ。ル。、所。ノ。建。築。術。作。像。術。及。ヒ。畫。術。之。ニ。屬。ス。音。樂。ノ。詩。ニ。結。合。ス。ル。カ。如。ク。作。像。術。及。ヒ。畫。術。ハ。建。築。術。ニ。結。合。シ。而。シ。テ。之。ヲ。補。充。完。備。セ。シ。ム。又。美。術。ハ。高。尚。ヲ。呈。出。ス。即。チ。建。築。ニ。於。ケ。ル。カ。如。ク。戲。曲。ニ。於。ケ。ル。カ。如。シ。美。妙。學。ノ。緊。要。ナ。ル。原。則。ハ。實。ニ。中。學。ニ。於。テ。詩。論。及。ヒ。脩。辭。學。著。名。ナ。ル。詩。人。

ノ篇什殊ニ「らとこーん」(古代トロヤノ僧)ノ遺篇等ニ於テ解説セラル。然レ氏之ヲ一學科即チ審美學トシテハ、大學ニ於テ學習スルヲ得、智力感應ハ學問ニ於ケル知識ヨリ生ス。心靈ハ各學問ノ問題及ヒ長篇ノ論說ヲ解説スルニ甚タ喜悅満足スルモノナリ。此智識ノ進歩ニ於ケル満足及ヒ喜悅ハ一方ニ於テハ人間智力ノ真理ヲ逐フテ勵ム所ノ高等ナル定規ノ証明ニシテ、一方ニ於テハ、常ニ高等完全ノ域ニ達スル爲ニ、悟性ノ全力及ヒ意志ノ全力ヲ引キ起ス所ノ最モ有力ナル槓杆ト云フベシ。美妙及ヒ智力ノ感應ニハ断定。知識先行セザルベカラス。無識ナル者モ往々美妙及ヒ高尚ニ對シテ感覺ヲ有スト雖モ、是レ唯萬有及ヒ其生産物及ヒ現象ノ上ニ關スル

ノミニシテ、美術及ヒ其生産物ノ上ニ關セス。又學問及ヒ其事業ノ上ニ關スルニアラサルナリ。

第二十八章 意志ノ第二級

意。志。ノ。第。二。級。即チ決定力。ハ此或ハ彼ノ事ヲ選擇施行スベキ自由ノ内ニ生ス。人間ノ心靈ハ蓋シ自己自ラ決定スルヲ識ル。自己ノ意見ニ從ヒテ事ヲ處スルヲ識ル。又若シ心靈ハ其意ノ欲スル時ニ當リテハ、一ニハ自己ニ便利ナル所ノモノハ之ヲ爲シ、二ニハ其不利益ナルモノハ之ヲ避ケンガ爲ニ現在ノ場合ニ於テ亦他ノ事ヲ爲スヲ得ルヲ識レリ。蓋シ意志ハ感應ニ因リテ興起セラレ而シテ決定ハ其目的ニ適フト適ハサルトヲ識別スルヲヨリ起ル。然レ氏決定

ヲ爲スニハ意志ノカヲ籍ラサルヲ得ズト雖モ。人ノ決定ヲ爲スニハ常ニ有用或ハ損害。利益或ハ不利益ニ關スル知識ノ爲ニ制限セラル、ヲ以テ自己自ラ決定スルヲ得ル所ノ決定力即チ自由意志ト雖モ。全ク意志ノ自由ヲ得ルヲ能ハス且ツ人ノ決定力ニハ甚タ差等アリテ一人ハ久シク疑慮彷徨スル間ニ他ノ一人ハ既ニ瞬間ニ之ヲ決定スルアリ。若シ夫レ意志ニ關スル事項ニモ。凡テ社會或ハ一私人ノ利害ニ關スル所ノモノヨリ權理義務等ノ事ニ至リテハ。是レ固ヨリ國家學及ヒ法律學ノ專務トスル所ナレハ讀者宜シク之ニ就テ研究スヘシ。

第二十九章

知識ノ最高級理性

地球上ノ萬物中。理性ヲ有スルモノハ唯人間ノミニシテ動物ノ如キハ理性ヲ有スルモノニアラス。故ニ理性ヲ有スルハ。姓ニ關スルモノニシテ。人間ハ即チ凡テ理性ヲ有スルモノナリ。何トナレハ理性ハ一般人間(姓)ノ内ニ賦與セラレタルモノナレバナリ。然レ氏天才即チ理性ノ才幹ハ種々ナル差等アリテ。一般人民并ニ一己人皆相異レリ。抑、理性ハ智力ト同一ニ非スシテ相異ルモノナリ。蓋シ理性ハ智力固有ノ資性ナリ。而シテ人間ハ一人モ理性ヲ有セサルモノナシ。然レ氏智力ナキモノハ往々之アリ。之ヲ換言スレハ僅少ナル才能思想ヲ有スルモノハ多ク之アルナリ。是故ニ悟性。及ヒ理性。ハ二十カラ智力ノ資性ナリト謂フヘシ。然レ氏人間ノ心靈ハ唯一ナルモノナレハ。悟性及ヒ理性ノ間ニ一ノ區劃

ヲ爲スニハ意志ノカヲ籍ラサルヲ得ズト雖モ。人ノ決定ヲ爲スニハ常ニ有用或ハ損害。利益或ハ不利益ニ關スル知識ノ爲ニ制限セラル、ヲ以テ自己自ラ決定スルヲ得ル所ノ決定力即チ自由意志ト雖モ。全ク意志ノ自由ヲ得ルヲ能ハス且ツ人ノ決定力ニハ甚タ差等アリテ一人ハ久シク疑慮彷徨スル間ニ他ノ一人ハ既ニ瞬間ニ之ヲ決定スルアリ若シ夫レ意志ニ關スル事項ニモ。凡テ社會或ハ一人ノ利害ニ關スル所ノモノヨリ權理義務等ノ事ニ至リテハ是レ固ヨリ國家學及ヒ法律學ノ專務トスル所ナレハ讀者宜シク之ニ就テ研究スヘシ。

第二十九章 知識ノ最高級理性

地球上ノ萬物中。理性ヲ有スルモノハ唯人間ノミニシテ動物ノ如キハ理性ヲ有スルモノニアラス。故ニ理性ヲ有スルハ。姓ニ關スルモノニシテ。人間ハ即チ凡テ理性ヲ有スルモノナリ。何トナレハ理性ハ一般人間(姓)ノ内ニ賦與セラレタルモノナレバナリ。然レ氏天才即チ理性ノ才幹ハ種々ナル差等アリテ。一般人民并ニ一己人皆相異レリ。抑、理性ハ智力ト同一ニ非スシテ相異ルモノナリ。蓋シ理性ハ智力固有ノ資性ナリ。而シテ人間ハ一人モ理性ヲ有セサルモノナシ。然レ氏智力ナキモノハ往々之アリ。之ヲ換言スレハ僅少ナル才能思想ヲ有スルモノハ多ク之アルナリ。是故ニ悟性。及ヒ理性。ハ二十カラ智力ノ資性ナリト謂フヘシ。然レ氏人間ノ心靈ハ唯一ナルモノナレハ。悟性及ヒ理性ノ間ニ一ノ區劃

ヲ爲ス。トヲ得ス。而シテ其意義ノ相異レル所ハ。心。靈。能。力。へ。種々ニ發現スル。トヨリシテ。生。ス。悟。性。ハ。決。シ。テ。時。間。及。ヒ。空。間ノ境域ヲ超脱スル。ト能ハス。之ニ反シテ。理。性。ハ。超。絶。覺。性。即チ神及ヒ神ニ關スル。トニ付テ營爲ス。故ニ吾人ハ一能力(悟性)ニヨリテ悟解シ。一能力(理性)ニヨリテ預察ス。故ニ理性ハ最高ノ才幹ニシテ造物主ノ高貴ナル賦與ト云フベシ。而シテ吾人ハ之ニ因リテ此世界ノ尊榮、富有、財産ノ價値ヲ正シ。而シテ無窮ナル極美ノ德義ヲ勵行シ。真神ノ看護ヲ認識シ。其全能ニ異順シ。其正直ヲ信任シ。其慈仁ヲ願望シ。其德義ヲ親愛スル。トヲ得ベシ。蓋シ是レ皆神ノ満足スル所ナレバナリ。若シ人間ハ正直ナル道路ヲ誤ラズシテ人間定分ノ目的ニ達セント欲スレハ。基督教ハ之カ模範ヲ與ヘ。基督教會

ハ禮拜即チ人間ノ注意シテ行ハザルベカラサル所ノ祈禱ヲ示ス。此ノ如ク一方ニ於テハ基督教ハ人間ノ正實ナル教導者タル如ク。他ノ一方ニ於テハ人間固有ノ良心即チ理性ノ心アリテ。若シ人間ノ道德ヲ壞ルトキハ之ヲ諫メ其罪ヲ犯シタルキハ之ヲ罰スル。トヲ掌ル。

第三十章 觀念

理性ハ悟性ト同シク唯知識スル所ノ能力タルノミナラス。又構成スル所ノ能力タリ。吾人ハ理性ニヨリテ悠久及ヒ無窮ハ。萬物ノ生成スル所ノ泰初原因タラサルベカラサル。トヲ知ル。又道德ノ範圍及ヒ凡テ神及ヒ心靈ノ不滅ニ關スル所ノモノハ。覺性的及ヒ其凡テノ關係トハ相反對スルモノ

タルヲ知ル。然リ而シテ理性ハ悟性が覺性的ノ範圍内ニ
 アリテ概念ヲ構成スルカ如ク亦覺性的ノ範圍外ニアリテ
 超。絶。覺。性。的。即。チ。純。然。タル。無。形。ニ。關。ス。ル。所。ノ。固。有。ノ。觀。念。ヲ
 構。成。ス。蓋。シ。人。間。ハ。此。地。球。上。ニ。於。テ。幸。福。喜。悅。ヲ。享。有。ス。ル。亦
 夥。多。ナル。モ。到。底。此。ヲ。以。テ。滿。足。ス。ル。能。ハ。サ。ル。ナ。リ。然。ラ。ハ。則
 チ。人。間。ノ。欲。望。ハ。此。地。上。ニ。於。テ。ハ。決。シ。テ。瞬。間。靜。止。ス。ル。コ。ト
 ナ。キ。ナ。リ。嘻。乎。人。間。ハ。何。如。ニ。シ。テ。此。煩。惱。ヲ。熾。滅。ス。ベ。キ。カ。不
 滅。ノ。心。靈。ハ。何。如。ニ。シ。テ。此。覺。性。的。範。圍。ニ。於。テ。完。全。永。續。ノ。滿
 足。ヲ。發。見。ス。ル。ヲ。得。ベ。キ。カ。是。レ。蓋。シ。人。間。ノ。本。性。ニ。從。ヒ。唯
 悠。久。及。ヒ。無。窮。或。ハ。之。ニ。類。似。セ。ル。所。ノ。モ。ノ。ニ。於。テ。其。寧。靜。ヲ
 求。ム。ル。ニ。他。ナ。キ。ナ。リ。是。ヲ。以。テ。理。性。ハ。神。及。ヒ。悠。久。ニ。關。シ。恰
 モ。之。ヲ。生。寫。シ。タル。如。キ。所。ノ。觀。念。ヲ。構。成。ス。此。觀。念。ハ。即。チ。悠

久。自。ラ。ノ。如。ク。理。性。ノ。觀。念。ト。云。フ。ヘ。キ。モ。ノ。ナ。リ。
 正。直。ナル。概。念。ハ。之。ヲ。正。直。ナル。觀。念。ヨリ。區。別。セ。ザ。ル。ベ。カ。ラ
 ス。抑。正。直。ナル。概。念。ハ。地。球。上。ニ。於。ケ。ル。人。間。ノ。凡。テ。ノ。正。直。ナ
 ル。行。爲。ヨリ。抽。象。シ。タル。モ。ノ。ナ。ル。ヲ。以。テ。此。世。ノ。上。ニ。關。ス。然
 レ。氏。正。直。ナル。觀。念。ハ。覺。性。的。ノ。關。係。外。ニ。ア。ル。ヲ。以。テ。其。ノ。原
 始。ヲ。神。ニ。有。ス。ル。ナ。リ。人。間。ノ。從。事。シ。テ。勉。勵。セ。サ。ル。ベ。カ。ラ。サ
 ル。所。ノ。高。尚。ナル。觀。念。ハ。真。理。及。ヒ。道。徳。ノ。觀。念。ナ。リ。ト。ス。蓋。シ
 真。理。及。ヒ。美。妙。ノ。概。念。ハ。學。問。上。及。ヒ。美。術。ノ。上。ニ。關。シ。テ。ハ。實
 反。對。ヲ。爲。ス。モ。ノ。ナ。リ。ト。雖。モ。觀。念。ニ。於。テ。ハ。此。反。對。ハ。消。滅。セ
 ザ。ル。ベ。カ。ラ。ス。而。シ。テ。凡。テ。絶。對。真。理。ナル。モ。ノ。ハ。亦。必。ス。絶。對
 美。妙。ナ。ラ。ザ。ル。ベ。カ。ラ。ス。故。ニ。吾。人。ハ。自。由。ナル。思。想。ト。必。要。ナ
 ル。体。形。即。チ。美。妙。ト。符。合。ヲ。自。由。思。想。ト。實。際。ノ。真。理。ト。符

合ト稱ス。故ニ觀念ニ於テハ体形及ヒ實際ハ思想ト相一致
結合セサルベカラス。

第三十一章 理想

求_レ棲_レ豈_レ當_レ人_一間_一世

前_一途_一猶有_二理_一想_一界_一

觀念ハ凡テノ覺性界ヲ超脱セルヲ以テ。概念ノ如ク定義セ
ラル、_一ヲ得ス。即チ觀念ハ内包及ヒ外延皆之ヲ明瞭ニ爲
ス_一ヲ得サルヲ以テ。之ヲ構成セシ所ノ理性ハ。他ニ之ヲ理
會意識シ易カラシムル所ノ方法ヲ求メサルベカラス。蓋シ
人ハ覺性智力ヲ有スル体ナルヲ以テ理想ハ即チ人間ニ向
ツテ觀念ヲ理會セシムル所ノ体形方法ト云フベシ。何如ト

ナレバ理想ハ其種類中ニ在リテ最モ完全充備シタルモノ
ニシテ。覺性的ノ屬性ヲ有スレハナリ。今理想ヲ以テ人ノ模
擬シ或ハ之ニ達セン_一ヲ務ムル所ノ模範タリトセハ。則チ
物体皆悉ク理想タル_一能ハス。然レトモ唯同姓中ニ在リテ
最モ完全シタル單獨ノ体ハ恐ラクハ理想ノ地位ニ立ツコ
トヲ得ベシ。是ヲ以テモくらてモ氏ハ。希臘人中ニ於テ哲人
ノ理想ヲ以テ。でもすて_一ねす氏ハ。演說者ノ理想ヲ以テ視
ラレタリ。理想ヲ有スル豈唯學術ト美術トニ止ランヤ。實際
ノ行爲ニ於テモ亦理想アリ。ぶらと_一氏ハ其國家ニ於テ理
想即チ完全シタル國家ノ模範ヲ説立セリ。他ノ諸物ヨリ格
段ニ理想ノ經營ヲ要スルハ美術ニシテ。就中詩術ニ於テ最
モ要用トナス。而シテ詩人ハ最モ想像ニ富マサルベカラス。

之ヲ詳言スレハ詩人ハ實物ヲシテ理想上ノ服裝ヲ被ラシメサルベカラス蓋シ尋常ノ實物ト理想界トハ相反對セルモノナリ。又美術理想ハ美妙ノ觀念ヲ或ル方法ニ於テ理會シ易カラシメザルベカラス。然ラズンハ美術理想ノ美術理想タル所以ヲ失ヘバナリ。今左ニ一ニ理想タルベキ人物ヲ舉グレハへるくれナ氏ハ希臘ニ於テ丈夫ノ理想ニシテ。あひる氏ハ勇敢ナル若羊ノ理想ナリ。而シテベネーロ氏ハ貞烈ナル婦女ノ理想ナリ。基督教徒ノ從事勵精スル所ノ理想ハ基督ナリ。

第三十二章 熱心

熱心。ハ人ノ觀念ニ對シテ非常ニ發憤セル氏ニ當リテ生ス。

之ヲ詳言スレハ生命及ヒ財産ヲモ犧牲ニ供セントノ勵ム所ノ理性ノ興起及ヒ結果ヲ云フ。歷史上記載スル所ヲ見ルニ。熱心ハ唯單一ナル人間例ヘハ基督教預言者ノミニ於ケルノミナラス。十字軍ノ時ニ於ケルカ如ク。全時代及ヒ全人民ヲ興起セシム。此十字軍ノ最初ノ發端ヲ爲セシモノハ實ニペーとる、ふをん、あミえんナノ熱心トス。美術學問及ヒ實地ニ於ケル凡テノ宏圖偉觀ハ。皆此熱心ヨリ生シタルモノナリ。然レモ熱心ハ悟性ノ全力、心ノ全力、意志ノ全力ヲ一致シ。以テ凡百ノ障礙ヲ打破シテ進ムニ非スンバ。壯觀ナル結果ヲ顯ス能ハサルナリ。

人ハ唯悟性ヲシテ非常ニ發達セシムルノミニテハ。未タ以テ高尚ノ域ニ達スルヲ得ス。然レトモ理性ノ愈々開發セラ

ル、ニ從ヒテ。人ハ益、理想ニ向ツテ勵ミ。人間ノ尤モ高等ナル財寶ニ向ツテ熱心スルモノナリ。而シテ軍事ニ於ケル豪快ナル事功或ハ國家ノ版圖ヲ擴メ且ツ之ヲ強盛ナラシムルトニ關スル名譽アル行爲ノ如キ形而下ノ財産ニ從ヒテ熱心勵精スルハ。美術或ハ學問ノ不朽ノ事業ニ從ヒ熱心スルト其美惡高下果シテ孰若ソヤ然レモ人間行爲ノ種々ナル範圍ニ於ケル凡百ノ大事業ハ。非常ナル稟賦ヲ要ス。而シテ不朽ノ事業ヲ爲ス所ノモノハ。吾人ノ常ニ謂フ如ク未タ嘗テ天才ヲ有セスンバアラス。躁狂ト熱心トハ自ラ相異レリ。熱心ノ目的トスル所ハ常ニ高尚及ヒ宏偉ニシテ。躁狂ノ目的トスル所ハ。急躁、虚飾、愉快ナリ。美麗ナル形狀及ヒ彩色ナリ。之ヲ略言スレハ。常ニ外貌

上ニ存ス。是ヲ以テ美麗ナル外貌ニ向テ躁狂スル者アリ。希代ノ花木ニ向テ躁狂スル者アリ。或ハ甲蟲ノ蒐輯ニ或ハ貴重ナル銅板畫等ニ躁狂スルアリ。是ニ由テ之ヲ觀レハ。躁狂ハ天才ヲ要スルモノニアラズシテ。或ハ愛好、癖性ヲ要スルモノナリ。

第三十三章 感應ノ最高級

神聖ナル感應トハ何ソヤ。蓋シ古代ノ人民ノ腦中ニ鑿記セラレタル所ノ高等ナル勢力ニ伏從スル薄弱ノ感應ニアラスノ。安靜ナル喜悅。即チ善良ナル人間ノ寂寥安靜ノ中ニ於テ萬有ニ於ケル神ノ全能ニ畏服シ。而シテ之ニ感シタル所ノ内部ノ幸福ナリ。或ハ神ノ思想即チ全仁ニ於テ生成スル

凡テノ現世ノ關係ノ歸宿スル真誠ナル祈念ナリ。是レ即チ宗教上神聖ナル感覺ニシテ。真誠ナル信仰ニヨリテ成立シ而シテ唯真神ニ關スル所ノモノナリ。信仰感覺ハ。義務感覺ト相連合シテ離レサルモノナリ。蓋シ何人ニテモ誠ニ信仰セシ所ノモノハ亦必ス温和ナル良心ヲ有ス。而シテ神、人間及ヒ自己ニ關スル凡テノ義務ヲ充サンコトヲ務メサルハナシ。而シテ若シ覺性的(有形物)ノ影響ヲ受ケテ蹉跎スルアレハ。則チ必ス大ナル懺悔ヲ感ス。然レモ愆情、私欲、傲慢、醜惡、嫉妬ヲシテ增長セシムルモハ道德上ノ感覺ナルモノハ全ク跡ヲ掃フニ至ル。是ヲ以テ愆情ナルモノハ全ク理性ノ箝制ヲ受ケシメザルベカラス。然レモ理性ノ基礎適當ニ開發シタルモノハ慈仁ナル良心ヲ有セルナシ。而シテ慈仁ナ

ル良心ヲ有スル所ノモノハ亦必ス神及ヒ人間ニ對シテ愛情ヲ呈露ス。是故ニ純良ナル心ハ。人間ノ最モ高尚ナル財寶ト云フベシ。而シテ人間ハ此ニ至リテ始メテ感應ノ最高度ニ達シ。現世ニ於ケル凡テノ關係ヲ排除シタルモノト云フヘキナリ。

第三十四章 意志ノ最高級

絶對ノ自由ハ。唯神ノ有スル所ニシテ。人間ハ則チ自由ノ意志ナルモノヲ賦與セラレタリ。自由意志即チ人間ノ凡テノ關係ニ背馳スル完全ナル所ノ自由決定ニハ。常ニ理性ニ基キタル知識。及ヒ宗教道德上ノ感應先セサルベカラズ。故ニ理性ノ基礎發達シ。而シテ道德上ノ感應ヲ有スルモノハ。則チ

之ヲ欲シ之ヲ行フヲ得。然レ其理性ノ基礎發達セス。宗教上及ヒ道德上ノ感應ヲ知ラサル所ノモノハ往々罪過ニ陥リ、或ハ私欲ノ爲ニ其身ヲ統御セラル、トアリ。然レ其罪惡者ト雖モ、其意志ノ自由ナルカ爲ノ、再ヒ善良トナルヲ得。是ヲ以テ一個ノ人間ニシテ其惡過ヲ改メテ、終身善良トナリシモノ、即チ其意志ノ方向ヲ變セシモノ舉テ數フベカラサルナリ。

第三十五章 實驗心理學ノ結論

吾人ハ何如ニ悟性ヲ練修シ、智力ヲ琢磨シ、視察ヲ綿密ニスルモ到底不死不滅ノ心靈固有ノ本性ニ完全ナル説明ヲ與フルコト能ハス。譬ヘハ人間ノ心靈ハ、恰モ世人ノ所謂隱語

ノ如キ者ナリ。而シテ今日猶數多ノ心靈ノ狀態及ヒ其發現ノ未タ學問上ニ於テ解說セラレザル所ノモノアリ。然レ其力ノ講究ハ、猶數十年ノ後ヲ期スルニ非スンバ、其成功ヲ見ル能ハサルベシ。

然レ其上來論スル所ニヨリテ、理性發達ノ最高級ニ關シテハ、知識ハ常ニ感應ニ、感應ハ常ニ意志發動ニ先行スルヲ自ラ明瞭トナリタルナラン。是ヲ以テ下ノ如ク推斷スルヲ得。若シ人ハ道德上、感應ヲ有スルヲ得ント欲セハ其知識ヲ正當ナル方向ニ導クハ、第一ノ規約ナリト。然レ此正當ナル知識ニハ、世界及ヒ凡テノ害心ヲ有スル覺性的ノ反對シテ進ミ來ルヲ見ル。是ヲ以テ一般真誠ナル慈仁者ノ義務ハ學問ニ於ケル理想上ノ方向ヲ阻礙抑壓セサラシム

ル爲ニ其全力及ヒ熱心ヲ以テ努力營爲スルニ在ルナリ

哲學楷梯大尾

明治二十年十一月廿三日板權免許
全二十年十二月 日出 版

實價五拾錢

翻譯人 三重縣平民 今井恒郎

靜岡縣士族 菊町區一番町廿七番地

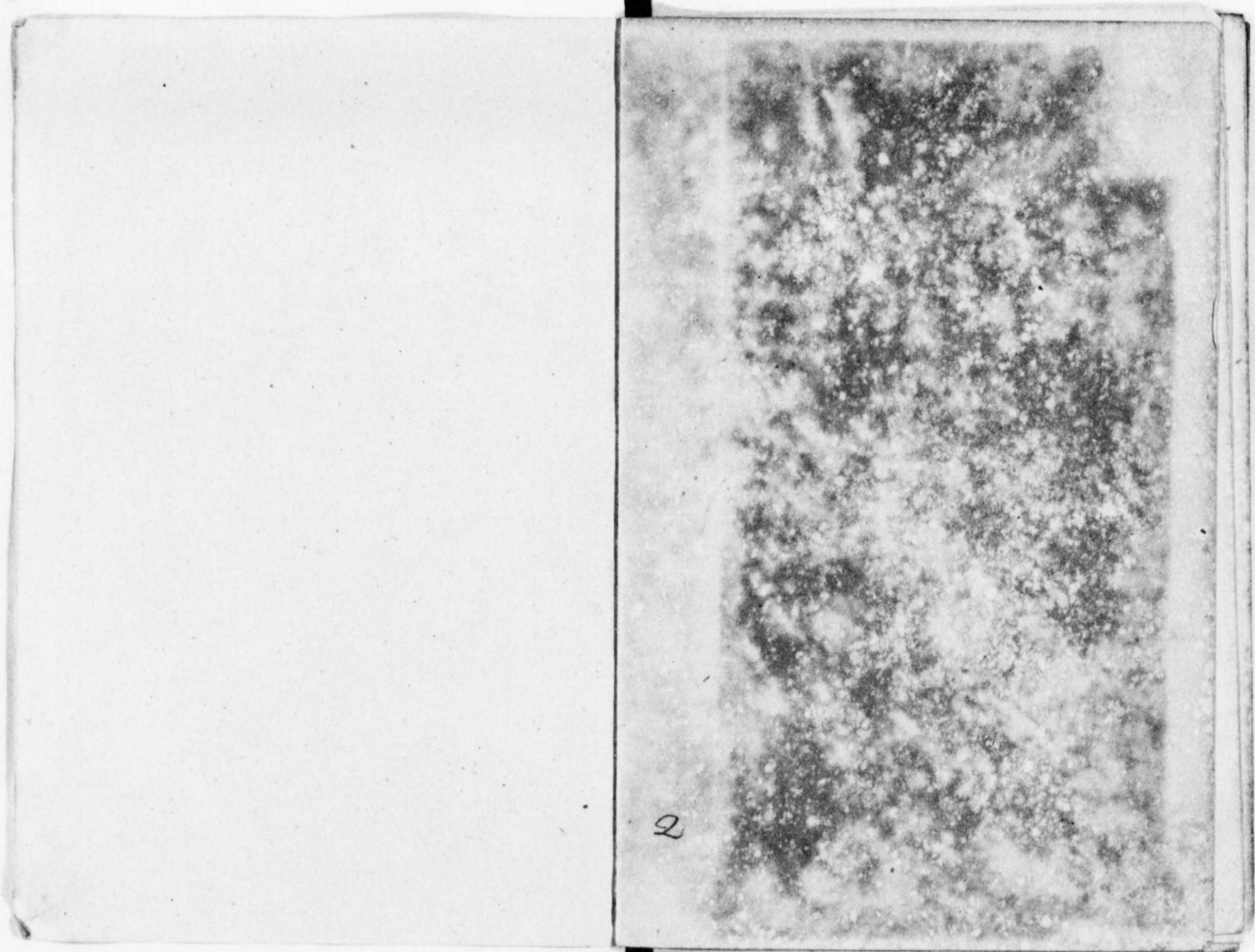
出版人 田口高朗

神田區今川小路三丁目一番地

發賣所 春陽堂

日本橋通四丁目五番地

印刷所 東京金玉出版社

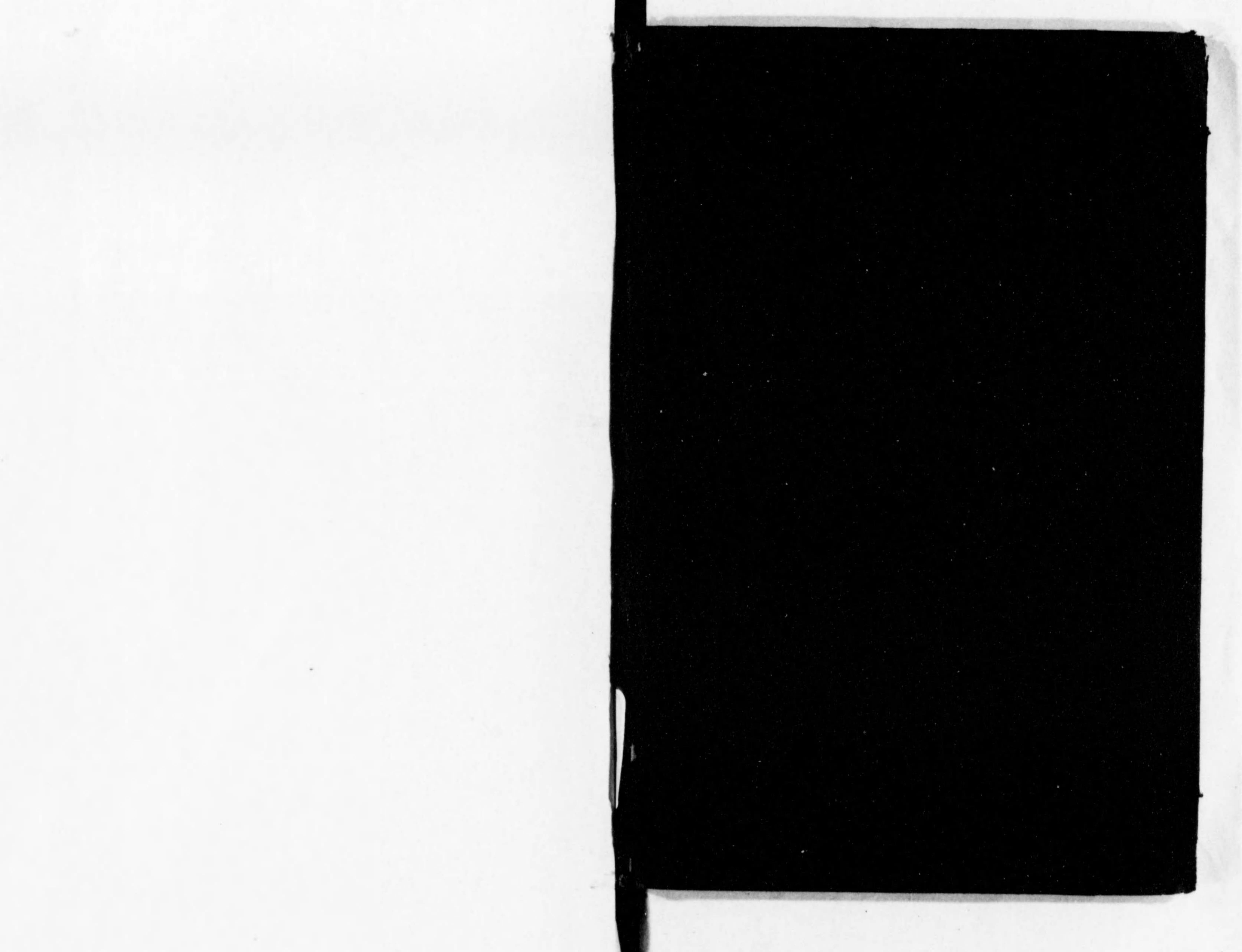


2

27

1

62



特 21

74

大日本教育會館

一	三	一	四
冊	八	架	函
號			

007967-000-6

特 21-74

哲学楷梯

ウェンツケ / 著

M20

AAA-0144



